



~OKADA Report~
第55期 株主レポート

平成25年4月1日 ▶ 平成26年3月31日

オカダ アイオン 株式会社

証券コード：6294



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に緩やかな景気回復基調にありました。また海外では、米国が緩やかな回復傾向にあり、欧州も一部回復の兆しが見られたものの、新興国での通貨安や政情不安等もあり全体としては予断を許さない状況でありました。

このような環境のもとで当社グループは、国内での復興をはじめとした公共投資の増加や都心部における底堅い建設需要に対応し、主力商品の圧砕機、環境関連機器、油圧ブレーカの販売に注力するとともに、欧米、アジアを中心に海外事業を強化いたしました結果、当連結会計年度の業績は、四期連続の増収・増益となり、過去最高益を更新することとなりました。

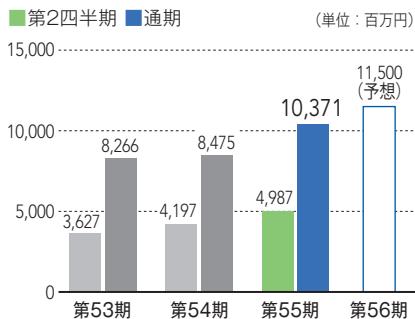
引き続き、全社一丸となり更なる飛躍を期する所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

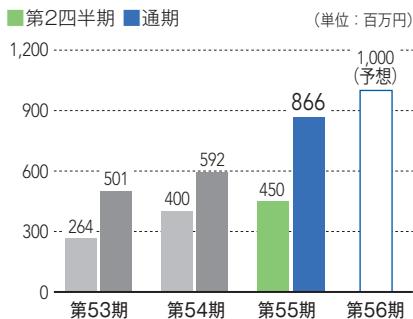


代表取締役社長 蒔田 俊幸

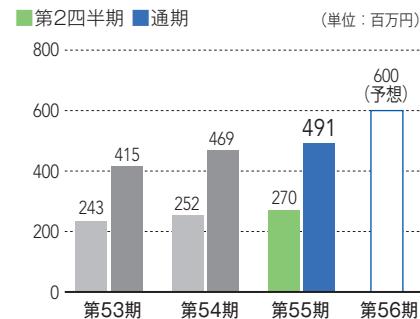
売上高



営業利益



当期純利益



重点施策

さらなる企業価値の向上を目指し、重点施策を推進します。

世界戦略

新興国への積極的な営業展開

東南アジアとインドを中心に、販売店アフターフォローと現地メカニックの修理教育に重点をおいたオカダ独自の営業展開を図ってまいります。

オカダアメリカ増強による販売網強化

オハイオ支店の不動産を昨年に購入して設備増強を行いました。また、新規に支店を出店する等、販売網を強化してまいります。

マーケットに合わせた機種投入

各国の種々のニーズに対応し、新興国向けには必要機能に絞った価格優先モデルを、欧米などの先進国には現地仕様で最適化したモデルを投入してまいります。

国内戦略

首都圏強化

東京2020オリンピック・パラリンピック開催や、耐震構造へのビルの建替え需要を確実に取り込むために、首都圏の営業・メンテナンスの増員と修理設備の強化を図ってまいります。

バイオマスビジネスへの注力

バイオマス発電用の燃料チップを製造する木材破砕機のラインナップを強化いたします。

アフタービジネスの強化

今年オープンいたしました部品センターにより、アフターパーツの物流体制の更なる強化をいたしました。また、2015年度稼働予定のメンテナンスセンターにて修理機能を強化してまいります。

製造・開発

主力製造工場の生産能力をアップ

2015年度に完成予定の(株)アイオンテック新工場にて、主力商品TS-WBクラッシャーの大幅増産をいたします。

他業態との商品共同開発

2013年に極東開発工業株式会社様とバイオマス関連商品“ログバスター”を共同開発いたしました。今後も他業種メーカーとのコラボレーションによる新商品の開発を積極的に進めてまいります。

次世代商品開発部門の強化

お客様のニーズを捉え、No.1商品を開発することを目的とする部門に優秀な人材を積極的に採用してまいります。

散水小僧

遠隔操作式 散水ロボット 新登場!

解体工事の現場で散水作業を自動でできる装置「散水小僧」を開発しました。

水量や散水の向きの変更をリモコン操作で行えるため、油圧ショベルの運転をしながら同時に散水作業ができるようになりました。

従来は作業員がホースで散水するなど人手に頼るケースが大半でしたが、新たに開発した散水小僧はリモコン1つで4台の装置の操作が可能になりました。また、周波数の混線を防ぐ最新の無線技術を採用し、1つの工事現場で最大16台まで同時に使うことができ



ます。これにより散水作業に従事する作業員を減らせるほか、工事の安全性を高めることにも期待できます。

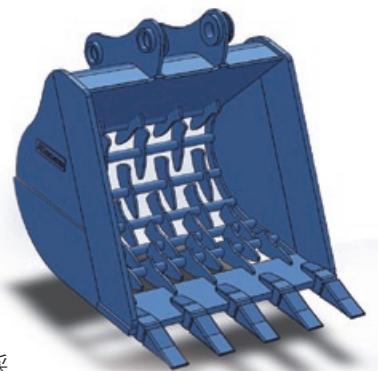
ロデオバケット

解体現場でショベルに取り付け、解体ガラから土砂分をふりわける新型バケット。

解体現場では、解体ガラに含まれている土砂分を分別しコンクリートガラのみを搬出する必要があります。

従来は、バケットの底が格子状の網目になっているスケル

トンバケットをショベルに取り付けふるって分別を行っていましたが、ロデオバケットは独自のRODEOプレートを採用。コンクリートガラがバケット内を勢いよく跳ね回り、従来型の2倍のスピードでふるい分けが可能になりました。また、格子状の網を使用していないので目詰まりを起こしにくい特長も持っています。ふるい時間短縮によるコストダウンと、ショベルの運転手の疲労も大幅に軽減されます。



従来型スケルトンバケット

バケットの振動がガラに伝わりにくく、ふるい分けに時間がかかる



RODEOバケット

独自のデザインのプレート機能により、ガラがバケット内を跳ね回り、ふるい分け時間を大幅に短縮



01 東証IRフェスタ2014

2014年2月21日(金)・22日(土)に東京国際フォーラムにおいて開催された「東証IRフェスタ2014」に参加し、ブース出展のほか当社社長の荻田俊幸による説明会を実施しました。

同フェスタには2日間で17,000人を超える来場者が訪れ、当社ブース・説明会にも多数の投資家の皆様にお越しいただきました。ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。今後とも投資家の皆様に対するIR活動の充実を図ってまいります。

<IR説明会開催予定>

◆日本証券アナリスト協会主催 個人投資家向け会社説明会
【大阪】8月5日(火) 13:30~ 【東京】8月26日(火) 13:35~

◆日本経済新聞社主催 日経IRフェア2014
【東京】8月29日(金)・30日(土) 10:00~17:00
※詳細はホームページにてご確認ください。



▲ 東証IRフェスタ2014 ブース出展



▲ 荻田俊幸による説明会

02 2014NEW環境展



2014年5月27日(火)~30日(金)の4日間、東京ビッグサイトにて「2014NEW環境展」が開催されました。

期間中、約16万7,000人の来場者数と大盛況のうちに終了し、当社出展ブースにも3,000人を超えるお客様にお越しいただきました。

出展内容と致しましては、散水小僧、新型アタッチメントを中心に実機と映像を交え展示し、ご好評をいただきました。

今後も皆様のお役に立てる機械を発表できるよう、社員一同努力してまいります。

連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前期	当期
	平成25年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部		
① 流動資産	7,626	8,344
② 固定資産	2,612	3,231
有形固定資産	2,242	2,680
無形固定資産	132	182
投資その他の資産	237	369
資産合計	10,238	11,576
負債の部		
流動負債	5,085	5,029
固定負債	631	576
負債合計	5,716	5,606
純資産の部		
株主資本	4,594	5,926
資本金	1,049	1,473
資本剰余金	1,000	1,438
利益剰余金	2,670	3,105
自己株式	△ 126	△ 91
その他の包括利益累計額	△ 71	28
その他有価証券評価差額金	19	55
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△ 91	△ 25
退職給付に係る調整累計額	—	△ 1
新株予約権	—	14
③ 純資産合計	4,522	5,969
負債純資産合計	10,238	11,576

※百万円未満の金額は切り捨てて計上しております。

Point

① 流動資産

前年同期比718百万円増加
受取手形及び売掛金590百万円の増加などにより、全体では718百万円の増加となりました。

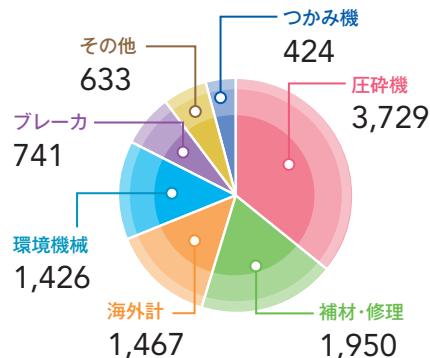
② 固定資産

前年同期比619百万円増加
当社の部品センター・関西営業所新築301百万円およびOkada America, Inc.の土地・建物103百万円の購入などにより、全体では619百万円の増加となりました。

③ 純資産

前年同期比1,446百万円増加
公募増資等により資本金423百万円、資本剰余金438百万円の増加および当期純利益491百万円を計上したことなどにより、全体では1,446百万円の増加となりました。

セグメント別売上高構成比



連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
4 売上高	8,475	10,371
売上原価	5,929	7,362
売上総利益	2,546	3,009
販売費及び一般管理費	1,953	2,142
営業利益	592	866
営業外収益	60	49
営業外費用	47	78
5 経常利益	605	837
特別損失	43	—
税金等調整前当期純利益	562	837
法人税等	92	345
少数株主損益調整前当期純利益	469	491
6 当期純利益	469	491

※百万円未満の金額は切り捨てて計上しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	991	△ 65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 99	△ 677
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 413	865
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	490	128
現金及び現金同等物の期首残高	1,613	2,104
7 現金及び現金同等物の期末残高	2,104	2,233

※百万円未満の金額は切り捨てて計上しております。

Point

4 売上高

前年同期比22.4%増加

国内の底堅い需要に対し、主力商品の圧砕機、環境関連機器、油圧プレーカの販売に注力した結果、売上高は22.4%増加し、4期連続の増収となりました。

5 経常利益

前年同期比38.3%増加

円安による原価上昇や販売管理費の増加があったものの売上高が増加したことにより経常利益は38.3%増加し、過去最高を更新いたしました。

6 当期純利益

前年同期比4.7%増加

当期純利益は前年同期比4.7%の増加となり、前年度に続き2期連続で過去最高を更新いたしました。

7 現金及び現金同等物の期末残高

前年同期比128百万円増加

現金及び現金同等物は、売上債権増加、固定資産の取得、法人税の支払い等の支出要因がありましたが、利益の増加、及び株式発行による収入があったことから、全体では128百万円増加の2,233百万円となりました。

会社の概要 (平成26年3月31日現在)

商号	オカダアイヨン株式会社 OKADA AIYON CORPORATION
本社	〒552-0022 大阪市港区海岸通4丁目1番18号 TEL. 06-6576-1281
設立年月日	昭和35年9月1日
資本金	1,473百万円
従業員数	152名
主要な事業内容	
■油圧ブレーカ	TOPシリーズ、超低騒音Sシリーズ 圧碎機TS-Wクラッシャー、TS-Wカッター、 TS-WBクラッシャー、カットクン、コワリクン、 マグネットコワリクン、アイヨン与作
■環境関連機器	木材破砕機、大型選別機、サイレントアミダス、 ロールクラッシャー、プラント関連機器
主要な営業所	
■東京本店	〒175-0081 東京都板橋区新河岸2丁目8番25号 TEL. 03-3975-2011
■関西営業所	〒552-0022 大阪市港区海岸通4丁目1番18号 TEL. 06-6576-1261
■その他営業所	札幌営業所・盛岡営業所・仙台営業所 中部営業所・北陸営業所・広島営業所 四国営業所・九州営業所・海外事業所

役員 (平成26年3月31日現在)

代表取締役社長	荻田俊幸
取締役	打田幸生
取締役	広崎茂
取締役	折尾卓児
取締役	篝耕二
取締役	岡田祐司
常勤監査役	梶原直樹
監査役	戸奈常光
監査役	稲田正毅

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日 (当社は中間配当制度を採用しておりません。) 上記のほか必要と認めたときは、あらかじめ 公告いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネット ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/ index.html
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いた します。なお、電子公告によることができない 事故その他やむを得ない事由が生じたとき は、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレスは、 http://www.aiyon.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	947	13.72
岡田眞一郎	420	6.08
岡田勝彦	369	5.34
極東開発工業株式会社	300	4.34
株式会社三井住友銀行	242	3.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	238	3.45
服部圭司	230	3.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	220	3.18
株式会社池崎鉄工所	212	3.07
株式会社テイサク	185	2.67

(注)持株比率は、自己株式(325,116株)を控除して計算しております。

オカダ アイヨン 株式会社

<http://www.aiyon.co.jp/>

